

平成27年度

歳入歳出決算補充説明

人 事 委 員 会

人事委員会関係の平成27年度歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

まず、「平成27年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」132頁の第14款 諸収入、第5項 受託事業収入、第1目 総務関係受託事業収入の公平事務受託事業収入については、予算現額、収入済額とも1万5千円であります。

次に、138頁の第8項 雑入、第2目 雑入のうち、人事委員会関係分については、予算現額6万6千円に対し、収入済額が6万7,397円であります。

以上、人事委員会関係分の歳入決算額の合計は、予算現額8万1千円に対し、収入済額が8万2,397円となります。

なお、収入未済はございません。

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。

230頁の第2款 総務費、第9項 人事委員会費、第1目 人事委員会費については、予算現額1億1,691万6千円に対し、支出済額は1億1,614万4,619円、不用額は77万1,381円であります。

支出済額の内訳としましては、人事委員会の開催、事務局職員の人件費等事務局の運営に要した経費1億690万3,199円、給与関係調査に要した経費98万441円、各種競争試験等の実施に要した経費813万1,486円、公平審査関係及び労働基準監督業務に要した経費12万9,493円であります。

また、不用額77万1,381円は、主に事務局職員の人件費等事務局の運営に要した経費の執行残であります。

以上、簡単ではございますが、人事委員会関係の平成27年度歳入歳出決算の概要説明を終わります。

なにとぞ、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

平成27年度

歳入歳出決算補充説明

監査委員事務局

平成27年度歳入歳出決算のうち、監査委員事務局関係の歳出決算につきまして、その概要を説明申し上げます。

「平成27年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の232頁から235頁を参照願います。

歳出決算額は、第2款 総務費、第10項 監査委員費、第1目 監査委員費のうち、2億2,426万3,026円で、その内訳は、監査委員、事務局職員の人件費、監査業務に要した旅費等の事務費です。

主な事業内容としては、定期監査（356箇所）及び財政的援助団体等監査（30団体）を行いました。

また、一般会計・特別会計及び企業会計の決算審査並びに健全化判断比率及び資金不足比率等についての審査を行いました。

以上をもちまして、監査委員事務局関係の平成27年度歳入歳出決算の概要説明とさせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

【歳出決算】

単位：円

款 項 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	差引 (A-B)
2 総務費			
10 監査委員費			
1 監査委員費	225,988,000	224,263,026	1,724,974
合 計	225,988,000	224,263,026	1,724,974

（「平成27年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」232頁から235頁までを抜粋）

平成27年度

歳入歳出決算補充説明

出 納 局

また、同じく 138 頁の第 2 目「雑入」のうち、出納局関係は、

予算現額 176 万 9,000 円

調定額、収入済額 2,308 万 8,214 円

となっております。これは主に三重県収入証紙の一般証紙売払代金であります。一般証紙売払代金は、販売した証紙代金を各種手数料等の証紙消印実績に応じて振替えた残額であり、収入済額が予算現額を上回りました。

【出納局歳出決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	支出済額
総務費		
総務管理費		
一般管理費	382,730,000	381,819,311
会計管理費	236,293,000	223,158,453
出納局関係分 計	619,023,000	604,977,764

次に、歳出についてご説明申し上げます。

170 頁の第 2 款「総務費」第 1 項「総務管理費」第 1 目「一般管理費」のうち、出納局関係は、

予算現額 3 億 8,273 万円

支出済額 3 億 8,181 万 9,311 円

不用額 91 万 689 円

となっております。これは、出納局職員の人件費であります。

また、180 頁の第 9 目「会計管理費」につきましては、

予算現額 2 億 3,629 万 3,000 円

支出済額 2 億 2,315 万 8,453 円

不用額 1,313 万 4,547 円

となっております。支出済額の主なものは、財務会計システムの運用に要した経費、電子調達システム（物件等）の運用に要した経費、証紙販売手数料、会計事務の検査に要した経費等であります。

以上で歳入歳出決算の説明を終わり、引き続き財産の管理及び処分につきまして、その概要をご説明申し上げます。

地方自治法上、財産は公有財産、物品、債権及び基金の4種類に分類されており、このうち、出納局におきましては基金にかかる現金等を保管・運用しております。

596頁の次から掲げております「財産に関する調書」のうち、13頁から26頁に各基金の状況を記載しておりますが、総括して次表により説明いたします。

【41基金の状況 総括表】

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
不 動 産	土 地	— m ²	— m ²	— m ²
	建 物	— m ²	— m ²	— m ²
	立 木	— m ³	— m ³	— m ³
動 産		9,738 枚	— 枚	9,738 枚
有 価 証 券		9,929,545 千円	4,162,578 千円	14,092,123 千円
債 権		10,520 千円	△10,520 千円	— 千円
現 金		51,310,789 千円	△12,854,755 千円	38,456,034 千円
計		61,250,854 千円	△8,702,697 千円	52,548,157 千円

平成27年度決算にかかる41基金を合わせた決算年度末現在高は、525億4,815万7,124円で、前年度末現在高に比べ、87億269万7,145円減少しております。

なお、基金については、確実かつ効率的に運用し、1億5,491万21円の運用益がございました。

続きまして、平成27年度三重県歳入歳出決算審査意見書により、監査委員からご意見をいただきました事項に対する、出納局の取組をご説明申し上げます。

財務事務につきましては、会計事務にかかる検査、各所属からの相談対応、会計事務職員を対象とした各種研修等を実施して、不適切な会計事務処理の未然防止及び会計事務職員の人材育成に努めています。

金品亡失（損傷）につきましては、各所属への依命通知や各種研修会において注意喚起するとともに、過失による県の損害額が10万円以上の金品の亡失等に対して所属長への文書指導を行うなど金品の管理意識の向上に努めています。

財産管理等につきましては、物品購入利活用書を活用した高額物品の適切な取得・管理、三年毎の悉皆調査による遊休物品の現状確認など、平成28年3月

に改定した「みえ物品利活用方針」に基づく取組を進め、物品全般について適切な取得・管理・利活用・処分を図っています。

資金の運用につきましては、より正確に資金の需給を把握するとともに、債券による長期運用の拡大を平成27年度から実施しており、今後とも安全かつ効率的な資金運用を行ってまいります。

以上をもちまして、平成27年度決算並びに財産についての説明を終わります。
なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年度

歳入歳出決算補充説明書

議会事務局

議会関係の平成27年度歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

まず、歳入決算について申し上げます。

歳入といたしまして、「平成27年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」116頁の第10款「財産収入」、第2項「財産売払収入」、第2目「物品売払収入」のうち議会関係分は、予算現額33万8千円に対し、調定額、収入済額とも33万8,040円となっております。これは、議会バスの売却収入であります。

次に、138頁の第14款「諸収入」、第8項「雑入」、第2目「雑入」のうち議会関係分は、予算現額1,810万8千円に対し、調定額、収入済額とも1,821万9,868円となっております。収入済額の主なものは、平成26年度政務活動費収支報告による返還金であります。

なお、物品売払収入及び雑入とも収入未済はございません。

次に、歳出決算について申し上げます。

歳出といたしまして、166頁の第1款「議会費」、第1項「議会費」、第1目「議会費」は、予算現額15億714万3千円に対し、支出済額は14億9,305万2,646円となっております。

支出済額の内訳としましては、議員報酬及び議員の期末手当等

7億8,160万5,110円のほか、議会運営に要した経費3億8,048万8,047円、事務局職員の人件費3億2,835万7,411円、事務局運営に要した経費260万2,078円となっております。

以上、簡単でございますが、議会関係の平成27年度歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。